

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年12月26日(2013.12.26)

【公表番号】特表2013-537808(P2013-537808A)

【公表日】平成25年10月7日(2013.10.7)

【年通号数】公開・登録公報2013-055

【出願番号】特願2013-525934(P2013-525934)

【国際特許分類】

A 47 J 43/046 (2006.01)

A 47 J 43/07 (2006.01)

【F I】

A 47 J 43/046

A 47 J 43/07

【手続補正書】

【提出日】平成25年11月8日(2013.11.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基部と、

前記基部に着脱可能に連結されたホモジナイザ組立体とを備え、前記ホモジナイザ組立体が

均質化室と、

前記均質化室と流体的に連通する入口シートと、

前記入口シートから分離し、前記均質化室と流体的に連通する出口と、

前記ホモジナイザ組立体を前記基部に着脱可能に連結するためのツイストロックカプラとを備え、

前記均質化室、前記入口シート、前記出口及び前記ツイストロックカプラが、一体構造として一体的に形成されると共に、

前記基部は、さらに、駆動軸を有する駆動モータを含み、

前記均質化室は、さらに、前記均質化室内での回転運動のために、前記駆動軸により駆動される破碎器を備え、

前記破碎器が、円錐形頂点と円錐形基部を有する円錐形状を含み、前記円錐形頂点と前記円錐形基部との間の少なくとも一部分に延びる複数のブレードと、前記複数のブレードの間に配置された少なくとも1つの凹部を有する食品用ホモジナイザ。

【請求項2】

前記入口シート及び前記出口が、略180度の間隔で配置されることを特徴とする請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項3】

ねじカップリングにより前記ホモジナイザ組立体に着脱可能に連結された端部蓋を更に備える請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項4】

前記均質化室が外部表面を備え、前記入口シートが前記外部表面に対して略垂直に配置される請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項5】

前記入口シートにより受容されるように形成され，前記均質化室と連係する湾曲した終端面を有し，前記均質化室に略連続的な内側表面を提供するピストンを更に備える請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項6】

前記基部が，前記ホモジナイザ組立体を前記基部に連結する前記ツイストロックカプラを係合するよう適合された取付開口部を備える請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項7】

前記基部が，駆動モータと，前記駆動モータの動作を停止するよう適合された安全スイッチとを備え，前記安全スイッチは前記取付開口部内に配置され，それにより，前記ツイストロックカプラが前記取付開口部に係合しなければ，前記駆動モータの動作を許容しない請求項6記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項8】

前記均質化室は，少なくとも一部が略円錐形状を成す内部表面により仕切られている請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項9】

前記入口シートは，前記円錐形状を成す内部表面に入口開口部を備え，前記入口シートを直接前記円錐形状に開口する請求項8記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項10】

前記出口は，出口開口部を含み，前記ホモジナイザ組立体は，前記出口開口部を横切って延びる薄い壁を含む請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項11】

前記基部は，さらに，駆動軸を有する駆動モータを含み，前記ホモジナイザ組立体は，さらに，前記均質化室内での回転運動のために，前記駆動軸により駆動される破碎器であって，前記駆動軸に機械的に連結されたソケットを含む破碎器を含み，

前記基部と前記ホモジナイザ組立体との間に液密シールを提供するよう形成されたシール部材であって，前記破碎器の前記ソケットに当接し，かつ，前記ソケットを包囲する第1のシールフランジを含み，前記ソケットと前記均質化室との間に，略連続的なシールを提供する，請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項12】

前記基部は，さらに，駆動軸を有する駆動モータを含み，前記ホモジナイザ組立体は，さらに，前記均質化室内での回転運動のために，前記駆動軸により駆動される破碎器を備えると共に，

前記駆動軸に対向して，前記均質化室内に配置された回転支持体とから成る請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項13】

前記回転支持体がソケットを備え，前記破碎器が，前記ソケットにより回転支持されるよう形成された球状支持体を含む請求項12記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項14】

前記破碎器が，頂点を有する円錐形状を含み，前記球状支持体が前記頂点を画定する請求項13記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項15】

前記基部が，前記ツイストロックカプラを受容するよう取付開口部を備える請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項16】

前記ホモジナイザ組立体は，複数のツイストロックカプラを備え，前記基部は，前記ツイストロックカプラを受容する複数の取付開口部を備える請求項15記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項17】

前記ホモジナイザ組立体は，前記入口シート内で運動するピストンと，前記均質化室内で回転運動する円錐形状の破碎器を備え，

前記均質化室は、少なくとも一部が略円錐形状を成す内部表面により仕切られ、前記ピストンは、前記内部表面の円錐形状に対応する非対称形状を有する終端面とから成る請求項1記載の食品用ホモジナイザ。

【請求項18】

前記円錐形状の破碎器が、少なくとも一のブレードを備え、前記ピストンが前記入口シート内に完全に挿入されたとき、前記少なくとも一のブレードを有する円錐形状の破碎器が、前記内部表面と前記ピストンの前記終端面に対して回転する請求項17記載の食品用ホモジナイザ。